








# 説明書

利用者に必要なもの

- \* 3dsまたはds(無線が使用できるもの)
- \* Windowsパソコン
- \* 無線Wi-Fiアダプタ(2.4Ghzに対応しているもの)
- \* dsが接続できるOPENまたはWEPのルーター  
(2.4Ghzに対応しているもの)
- \* 例えば
  - \* デザリングを契約したandroidスマホ
  - \* 古いWi-Fiルーター

次のページに続く

ダウンロードと解凍を行うと、次のようなフォルダがあります。

 dq9-server.exe	2026/02/06 2:30	アプリケーション	310 KB
 dq9-server.exp	2026/02/06 2:30	Exports Library File	1 KB
 dq9-server.lib	2026/02/06 2:30	VisualStudio.lib.8a...	2 KB
 dq9-server.pdb	2026/02/06 2:30	Program Debug D...	3,012 KB
 libcrypto-3-x64.dll	2026/02/06 2:30	DLL ファイル	5,221 KB
 libssl-3-x64.dll	2026/02/06 2:30	DLL ファイル	767 KB
 dummy-certs	2026/02/06 11:31	ファイル フォルダー	

## ローカルipの調べ方

使用するには、中継となるルーターまたは、android デザリング(インターネット接続なし)をオープンで作成、接続し、ローカルipを調べる必要がある。

インターネット接続用とds用のルーターが異なる場合、両者のローカルipを混在してはならない。

<https://solutions.vaio.com/5615>

ネットワークとインターネット > Wi-Fi > 

このネットワーク上のネットワーク使用量を制御するに役立つネットワーク使用量上限を改定する

ランダムなハードウェア アドレス  
このネットワークに接続したときに、他の人があなたのデバイスの場所を追跡しにくくすることで、プライバシーの保護に役立ちます。この設定は、次にこのネットワークに接続したときに有効になります。

オフ 

IP 割り当て:

自動 (DHCP)

編集

DNS サーバーの割り当て:

自動 (DHCP)

編集

SSID:



コピー

プロトコル:



セキュリティの種類:



製造元:

TP-Link Corporation Limited

説明:

TP-Link Wireless USB Adapter

ドライバーのバージョン:

5001.19.102.1

ネットワーク バンド (チャネル):



集計リンク速度 (送受信):



リンク ローカル IPv6 アドレス:










IPv4 アドレス:

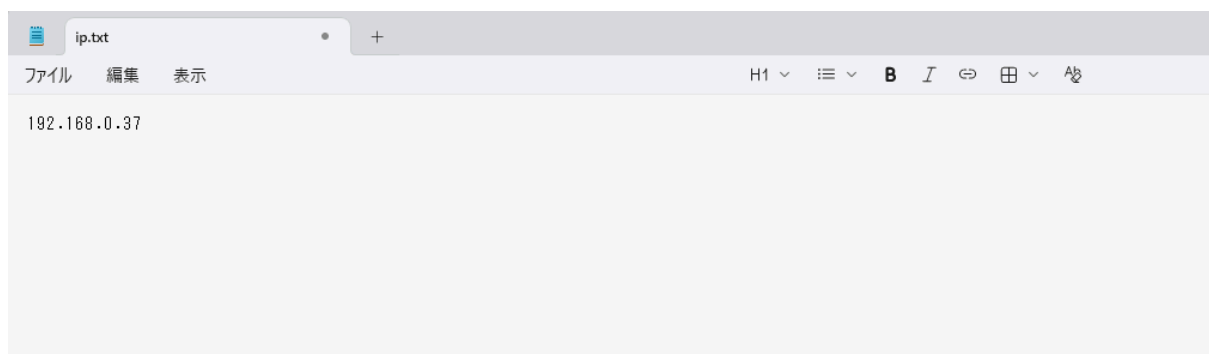
192.168.0.37

IPv4 デフォルト ゲートウェイ:

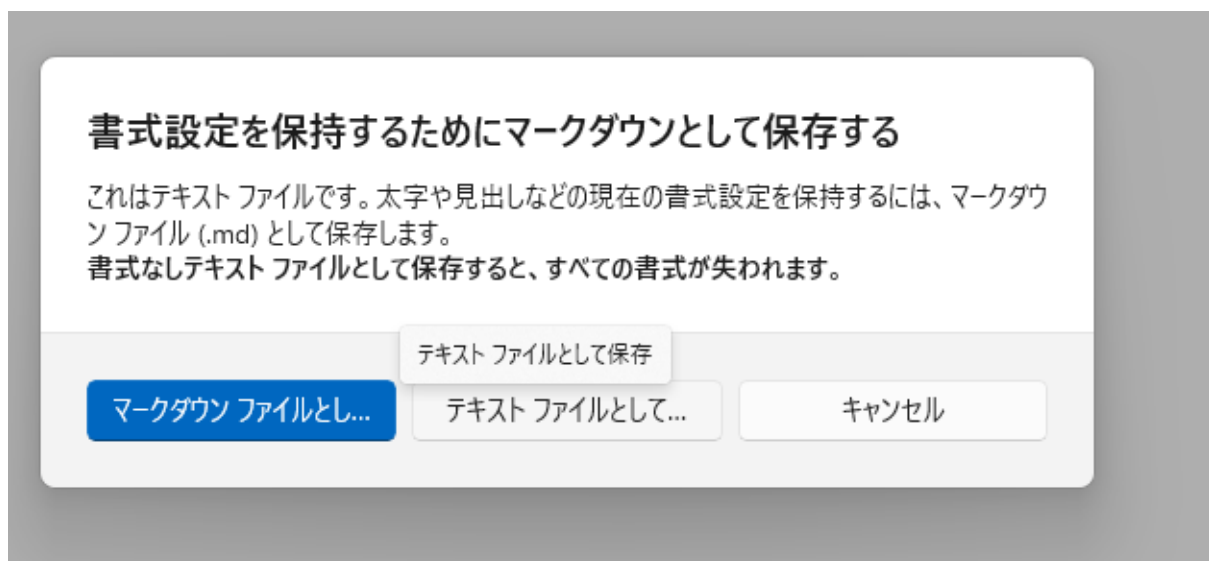
192.168.0.1

調べたipを、ip.txtを作成し、そこにメモ帳でこのパソコンのipを書き込み、ctrl+sで保存する必要がある。

 ip.txt	2026/02/06 11:49	テキストドキュメント	0 KB
 dq9-server.exe	2026/02/06 2:30	アプリケーション	310 KB
 dq9-server.exp	2026/02/06 2:30	Exports Library File	1 KB
 dq9-server.lib	2026/02/06 2:30	VisualStudio.lib.8a...	2 KB
 dq9-server.pdb	2026/02/06 2:30	Program Debug D...	3,012 KB
 libcrypto-3-x64.dll	2026/02/06 2:30	DLL ファイル	5,221 KB
 libssl-3-x64.dll	2026/02/06 2:30	DLL ファイル	767 KB



このダイアログが出た場合は、テキストファイルとして保存をクリックする必要がある。



# dlcデータの配置

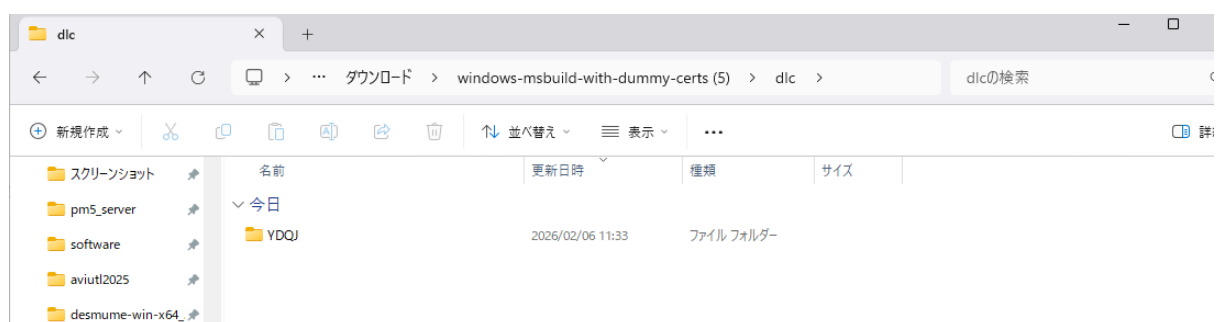
次にdlcファイルを作成し、dq9の場合は、ゲーム内部idの名前にしたフォルダを入れ子で作成する必要がある。

▼ 今日			
ip.txt	2026/02/06 12:09	テキストドキュメント	1 KB
dq9-server.exe	2026/02/06 2:30	アプリケーション	310 KB
dq9-server.exp	2026/02/06 2:30	Exports Library File	1 KB
dq9-server.lib	2026/02/06 2:30	VisualStudio.lib.Ba...	2 KB
dq9-server.pdb	2026/02/06 2:30	Program Debug D...	3,012 KB
libcrypto-3-x64.dll	2026/02/06 2:30	DLL ファイル	5,221 KB
libssl-3-x64.dll	2026/02/06 2:30	DLL ファイル	767 KB
dlc	2026/02/06 12:09	ファイル フォルダー	
dummy-certs	2026/02/06 11:31	ファイル フォルダー	



dlcファイルを置くためのフォルダは、dq9日本語版では、YDQJである

なお他ゲームのdlcとは互換性がないため、対応しているものの通信に失敗する可能性がある点については注意されたい。

次のようになる。



dlc\YDQJの中身には、<https://dqix.github.io/auction/>で作成したファイルなどが置かれなければならない。

 _list.txt	2025/12/13 14:31	テキストドキュメント	1 KB
 narc.bin	2025/12/13 14:31	BIN ファイル	2 KB

ここまで完了したら、dq9-server.exeを起動してもよい。  
セキュリティ上の懸念があるため、稼働してインターネットに触れる時間を最小にするのが望ましい。  
Windows ファイアウォールの告知があるが、許可しなければds側から接続できないため、許可するべきである。  
dq9-server.exeは、標準入力に何かしら改行を入力すれば、全停止するプログラムが組み込まれているため、強制終了する必要はない。

ログはこうなっていれば正解である。異常な個所があれば教えてくれるため、dmなどでエラー文とともにご連絡をお願いします。

なおターミナルによっては改行が正しく行われないことがあるが、異常ではない。

Now: Fri, 06 Feb 2026 05:24:28 GMT

[dns] Starting server on port 53

[http] Starting server on port 80

[watchdog] Pressing any key will be stop

[https][443] Starting server on port 443

[http] Initializing socket: ok

[dns] Initializing socket: ok

[dns] Binding socket: ok[http] Binding socket: ok

[dns] DNS (UDP) listening on :53, spoof \*.nintendowifi.net -> 192.168.0.37

[http] Listening on port 80: ok

[http] HTTP listening on port 80

[https][443] Initializing OpenSSL: ok

[https][443] Initializing server.crt: ok

[https][443] Initializing server.key: ok

[https][443] Initializing nwc.crt: ok

[https][443] Initializing Cipher: ok

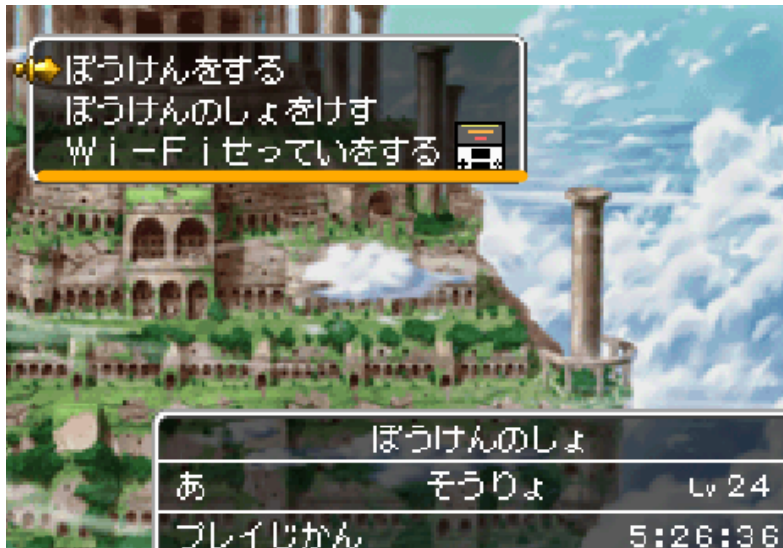
[https][443] Initializing socket: ok

[https][443] Listening on port 443: ok (SSLv3 + RC4)

## 接続方法

事前にルーターへの接続とパソコンのipの取得を済ませてある想定で進めます。

## Wi-Fiせっていをするを開き



このページで利用している株式会社スクウェア・エニックスを代表とする共同著作権者が権利を所有する画像の転載・配布は禁止いたします。

© 2009 ARMOR PROJECT/BIRD STUDIO/LEVEL-5/SQUARE ENIX All Rights Reserved.

## Wi-Fi 接続先設定を選択



接続先を選び、





アクセスポイントを検索を選択。

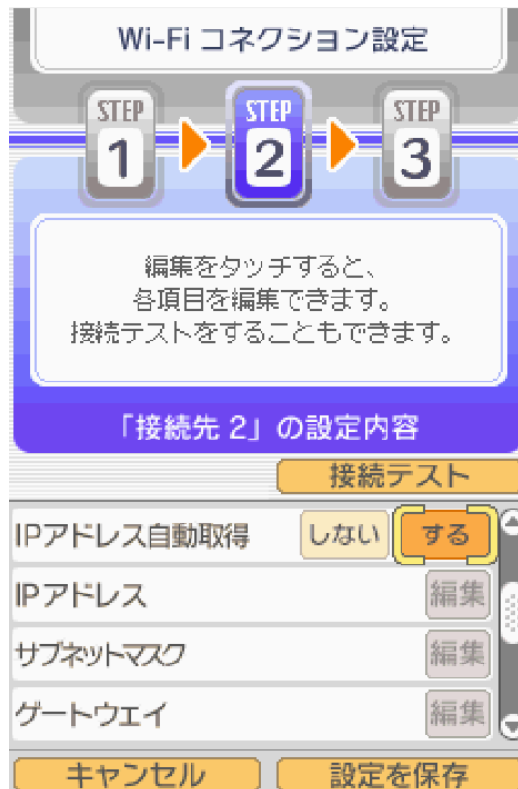


アクセスポイントを選ぶと、自動的に接続テストをするが、これは失敗しても問題ない。

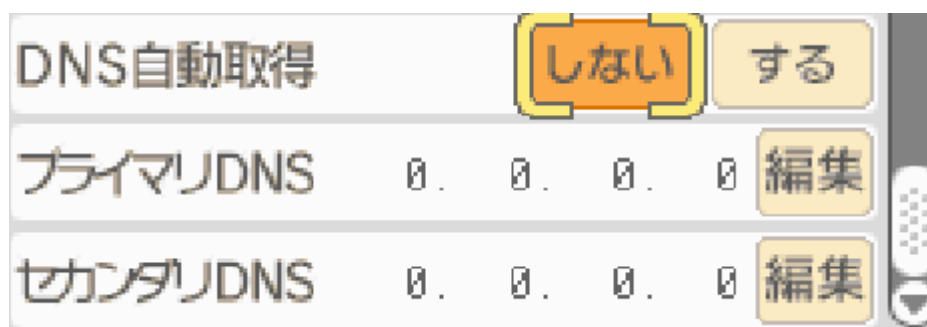
再度Wi-Fi接続先設定を選び



先ほど設定したアクセスポイントを選ぶ。  
ipアドレス自動取得をしない場合、ipアドレスをパソコンと同じipにしてはならない。



DNS自動取得を「しない」に設定し、



プライマリDNSとセカンダリDNSにパソコンのローカルipアドレスを指定する。  
これは、該当ルーターにパソコンを接続したときのローカルipアドレスを入力する必要がある。

インターネット接続用とds接続用でルーターが異なる場合、ローカルipアドレスの認識を混ぜないように注意する必要がある。

作成者の場合、パソコンのipは192.168.43.120であるため、入力する。

これは、上記で述べたip.txtの中身と一致する必要がある。

その後、接続先テストをし、dq9\_serverになにかしらが表示されれば、成功である。ファームウェアの実装の違いから、接続テストが失敗する場合があるが、dq9\_server側で何かしらの表示が出れば問題ない。

失敗する場合は、dq9\_serverをそもそも起動していないことや、Windows ファイアウォールの設定の問題、ルーターの問題、ip自動取得の設定ミス、dnsサーバーの設定が間違ってる、接続用ルーターにパソコンを接続していないなどが考えられる。

あとは、リッカの宿屋で接続するだけである。

dq9\_serverは、サーバー日時としてパソコンの時間を使用するため、1日1回制限があることに注意されたい。



このページで利用している株式会社スクウェア・エニックスを代表とする共同著作者が権利を所有する画像の転載・配布は禁止いたします。

© 2009 ARMOR PROJECT/BIRD STUDIO/LEVEL-5/SQUARE ENIX All Rights Reserved.